

令和7年度 学校評価アンケート（保護者対象）から見た今後の方向性

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。
自由記述の内容も含め、今後の取組の方向性を示します。

- 1 授業の工夫、グループ学習（協同学習）の実践に対する問い合わせに対し、肯定的な回答が70%を超えていました。生徒の学習活動を支援するICT機器や協同学習ツールを活用した「個別最適な学び」「協同の学び」を推進していきます。生徒が関わり合う姿勢、前向きな姿勢が多く見られる授業を開拓していきます。
- 2 学校行事について、引き続きたいへん肯定的な評価をいただきました。「学校行事はお子さんに感動を与えていたと思いますか」という問い合わせに対し、「そう思う」「ややそう思う」を合わせて90%近くの回答をいただきました。今後も生徒の心に響く活動の実現に向けて、取り組んでいきます。また、時期や内容の見直しについてこれからも継続して取り組んでまいります。
- 3 学級活動について、「心通い合う、温かみのある学級である」という評価を多くいただきました。今後も、「共感的人間関係」を育成しながら、生徒の心に寄り添える学級運営に努めてまいります。
- 4 「学校は、家庭や地域との連携を深めようとしている」という問い合わせに対しては昨年度より肯定的な回答を多くいただきました。今後も、地域・家庭と連携した活動を継続してまいります。
- 5 自由記述では多くの保護者の皆様からさまざまな励ましの言葉、ご意見・ご要望、また、厳しいお言葉もいただきました。学校評価アンケートの結果を真摯に受け止め、本校の教育に役立ててまいります。また、励ましの言葉が特に多く、学校としましても保護者の皆様には本当に感謝しかありません。これに甘えることなく職員一同もう一度気を引き締め、今後の教育活動に取り組んでまいります。